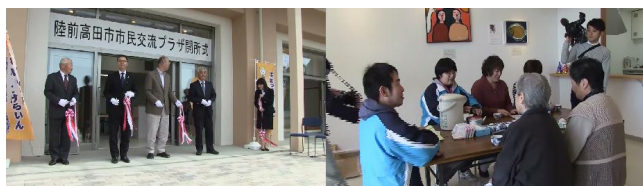


陸前高田発

「市民交流プラザ」開所

陸前高田市では災害公営住宅の中に気軽に立ち寄ることができる施設として「市民交流プラザ」がオープンしました。交流プラザは陸前高田市最大規模の下和野災害公営住宅に設けられました。施設には交流スペースのほか、健康のことや生活の困りごとなど何でも相談できる相談スペースもあり、誰でも無料で利用できます。(4/22 ニュースエコー)



田野畑発

「机浜番屋群」再建



津波で流失した田野畑村机浜の番屋群が再建されました。机浜番屋群は、水産庁の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」にも選ばれた貴重な建物でしたが、東日本大震災の津波によって全て流失しました。復興交付金や全国からの寄付金を活用して再建を進め、22棟が震災前の姿に忠実に再現されました。番屋の半数近くは観光客が塩づくりや、ダイビングなどの体験用に利用することが出来ます。人気のサップ船ツアーもここを発着することになり、番屋群は生業の復興に向けて中心的な役割を果たすこととなります。(4/23 ニュースエコー)

釜石発

復興支援事業・第1号



釜石市が公募した水産業の復興支援事業の第1号として水産加工場が建設されます。加工場を建設するのは釜石市に本社を置く岩手缶詰です。津波で被災し、元の場所に建設が進められている魚市場の隣接地に魚を買い受ける施設が誕生することになり、関係者は期待を寄せています。工場は来年2月の完成予定で、最終的には100人規模の雇用を見込んでいます。(4/23 ニュースエコー)

久慈発

「小袖海女センター」

震災による津波で全壊した久慈市の小袖海女センターが再建されグランドオープンしました。センターは北限の海女に関する伝統文化の継承と観光の拠点として再建され、産直施設や食堂も設けられました。産直施設や食堂は1年を通して営業されます。また海女さんによる素潜りの実演は7月上旬に始まる予定です。(4/26 ニュース)



陸前高田発

コミュニティホール完成



陸前高田市にシンガポールからの支援も受け、防災機能を備えた新たなコミュニティホールが完成しました。市役所仮庁舎の向かい側に建てられた「陸前高田市コミュニティホール」は、鉄筋コンクリート一部2階建てで、集会室や調理室のほか、ヘリポートや太陽光発電パネルが設置され、市民の交流の場としてだけでなく、防災施設としての役割も兼ね備えています。380人収容の多目的ホールは支援への感謝を込めて「シンガポールホール」と名づけられました。コミュニティホールの使用は5月11日から始まります。

(4/27 ニュースエコー)

大槌発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は「ぐるっと大槌」の岩間敬子さんが、ゴールデンウィークの5月4日(月)に行われるイベント『陣屋まつり』について伝えてくれました。かつて大槌では家の近所に『陣』という秘密基地を作り、陣取合戦などで遊び、寝泊りするお祭りをしていたとのこと。子供のころ夢中になって遊んだ陣屋まつりを今の世代に伝えたいと思いから、当時を知る大人と一緒に、陣屋を作ったり、昔遊びを体験したりというイベントです。大槌は今、菜の花が見ごろとのことで「是非大槌町を訪れてください。」と話していました。(4/29)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122